



やさしさあふれる学習発表会、終わる

10月25日(金)、本校体育館において、学習発表会を行いました。

これまで、新型コロナウイルス感染症や体育館屋根改修工事のため、分散開催または中止していたため、全児童合同の開催は4年振りでした。

保護者の皆様、地域の皆様にもお出でいただき、子供たちのがんばりに温かい声援を送っていただきました。また、今回は、あいさつ運動、読み聞かせ、プール見守り等、日頃からお世話になっている地域のボランティアの方々にもお出でいただきました。たくさんのお客様の前で発表できることは当たり前ではありません。本当にありがとうございました。

3年生「虹色の歌声で元気をお届け」から始まりました。野田豪琉先生の指揮に合わせて、鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏したり、歌を歌ったりしました。トップバッターで緊張したかもしれません。一番緊張していたのは、新規採用教員の野田先生かもしれませんね。3年生の皆さんが、心ひとつにして頑張ろうとしていることがしっかりと伝わりました。

次は、2年生「リズム パーティー♪楽しい歌とともに」でした。2拍子、3拍子を音楽で学習した2年生が、タンバリン、鈴、トライアングルを使って、リズムを刻みながら、全員で歌を歌いました。日常の音楽の授業場面をモチーフにしたのもアイデアでしたね。2年生の元気の良さが伝わりました。

前半の部の最後は、1年生「くじらぐも～愉快的な空の旅～」でした。1年生の国語で初めて出会う長編物語「くじらぐも」を題材にした音楽劇でした。ご家庭での音読カード等で、教科書がスラスラと読めるようになった1年生でした。なかよし学級で作ったクジラ雲も登場しました。初めての学習発表会でしたが、1年生のはつらつさがしっかりと伝わりました。



休憩をはさみ、後半の最初は、4年生、音楽劇「こわれた千の楽器」でした。どこかが壊れていて完全じゃない楽器が、それぞれの得意を生かし不得意を補いながら、曲を奏でるというストーリーです。鉄琴、電子オルガン、ベース等も出てくる本格的な音楽劇でした。何事にも本気で挑む4年生のやる気ときずなの強さが伝わりました。



次は、5年生「シン・ウルトラマン ミフネVer.」でした。恐竜の着ぐるみを着た子供たちが登場し、ウルトラマンと一緒にダンスをするという奇想天外な展開でした。これには、子供たちも大喜びでした。懐かしのウルトラマンの演奏も素晴らしかったです。人を楽しませることが好きな5年生のやさしさがよく伝わりました。



本日の学習発表会の最後に登場したのは、6年生「『つなぐ』～平和のバトン・命のバトン～」でした。始まりは、ボディーパーカッションでした。80年代に流行った曲に合わせて、リズムカルに体を動かす6年生。そして、雰囲気を変えて、長崎修学旅行・平和学習で学んだことの発表でした。大きな声で、真剣に、そして、精一杯、自分の気持ちを込めたセリフを発表しました。それに続く合唱「いのちの歌」は、涙なしでは聞いていただけませんでした。保護者の皆様の目に涙が浮かんでいるように感じました。「御船小学校の顔」として成長した6年生。6年生の本気度、そして、確かな成長がしっかりと伝わりました。



こうして、あっという間に、学習発表会が終わりました。子供たち一人一人の顔に、やり終えた達成感と自信を感じました。感動体験と成功体験につながった学習発表会になりました。閉会時にまとめとして感想を発表してくれた6年生の二人の言ったとおりです。保護者の皆様、地域の皆様、応援してくださり、本当にありがとうございました。



「いのちの歌」の冒頭

生きてゆく事の意味 問いかけるそのたびに 胸をよぎるいとしい 人々の暖かさ
この星の片隅で 巡り会えた奇跡は どんな宝石よりも 大切な宝物

